

心
下
聖徒伝 182

「偶像という重荷 あなたを負う神」

イザヤ書46章

バビロンの偶像とイスラエルの真の神

アウトライン

0. イントロダクション

I. 裁かれるバビロンの偶像 47:1~8

II. イスラエルの解放 47:9~13

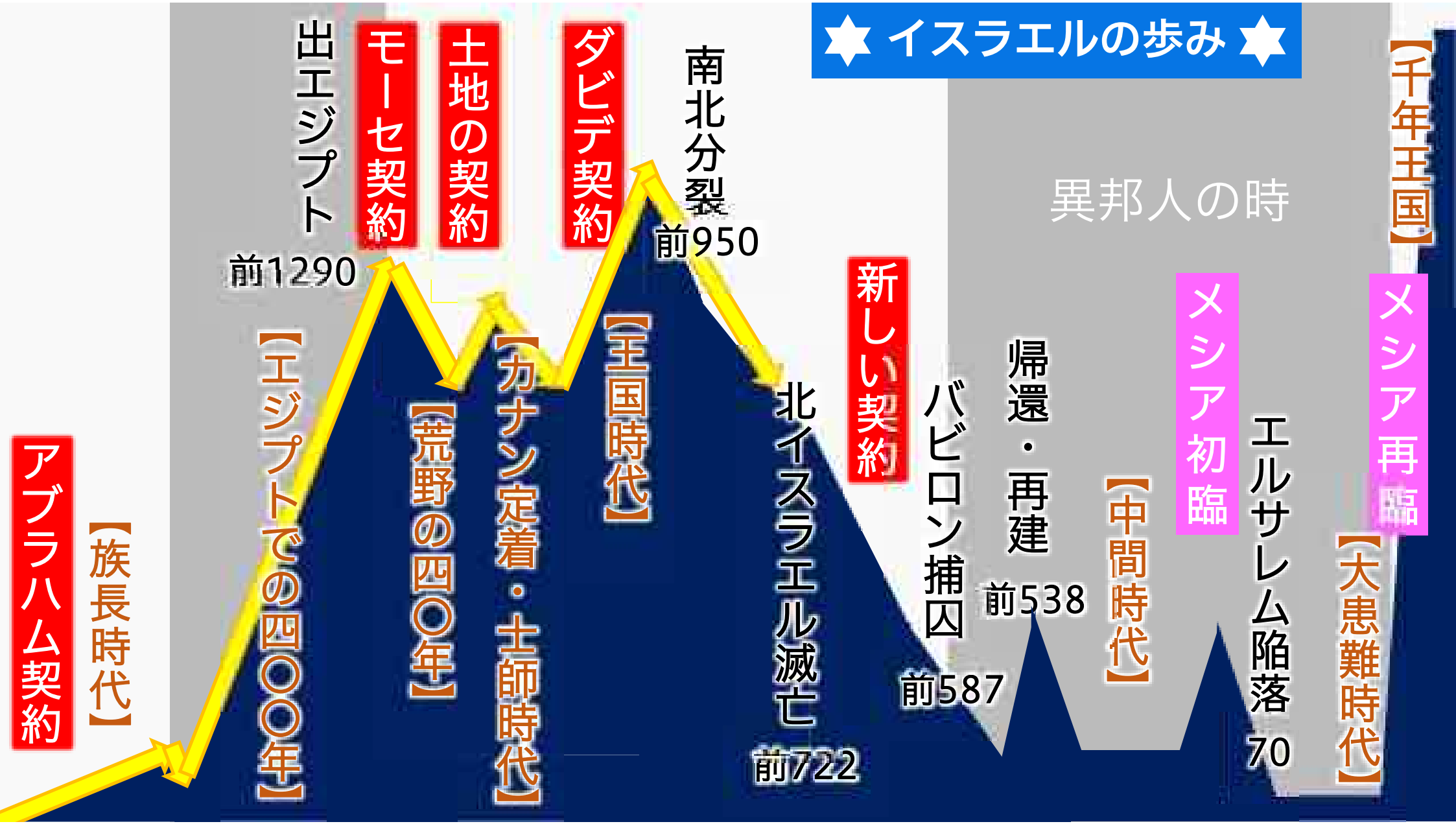
III. まとめと適用

かつてない偶像の時代のただ中で
主に砕かれ、新しくされていこう



バビロニアの浮彫

★ イスラエルの歩み ★



異邦人の時

新しい契約

メシア初臨

メシア再臨

アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡

バビロン捕囚

帰還・再建

【中間時代】

エルサレム陥落

【大患難時代】

【千年王国】

イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

■ 偶像礼拝の末に、北王国は滅亡。南王国も危機に。

イザヤは、迫る裁きへの警告を発し続けた。

裁きの警告

■ 晩年のイザヤが告げたのは、捕囚を前提とした、将来の解放。

メシアによるイスラエルの最終的な贖いと回復。

回復の希望

前半

後半

イスラエルと偶像礼拝

- アブラハムは、バビロンの南、**月神の町ウル**で、神に召命された。**カナンの偶像礼拝**がはびこる約束の地で、唯一の神を礼拝した。
- イスラエルが400年を過ごしたのは、**偶像礼拝の神々の地エジプト**
- 律法を授けられたその時、イスラエルは**金の子牛**を築いていた。
- 約束の地でも、**カナンの偶像礼拝**の影響を受け続け、**偶像礼拝**の結果、南北に分裂、神の裁きの滅びを招いた。
- **偶像礼拝の中心地バビロン**へ捕囚とされた。



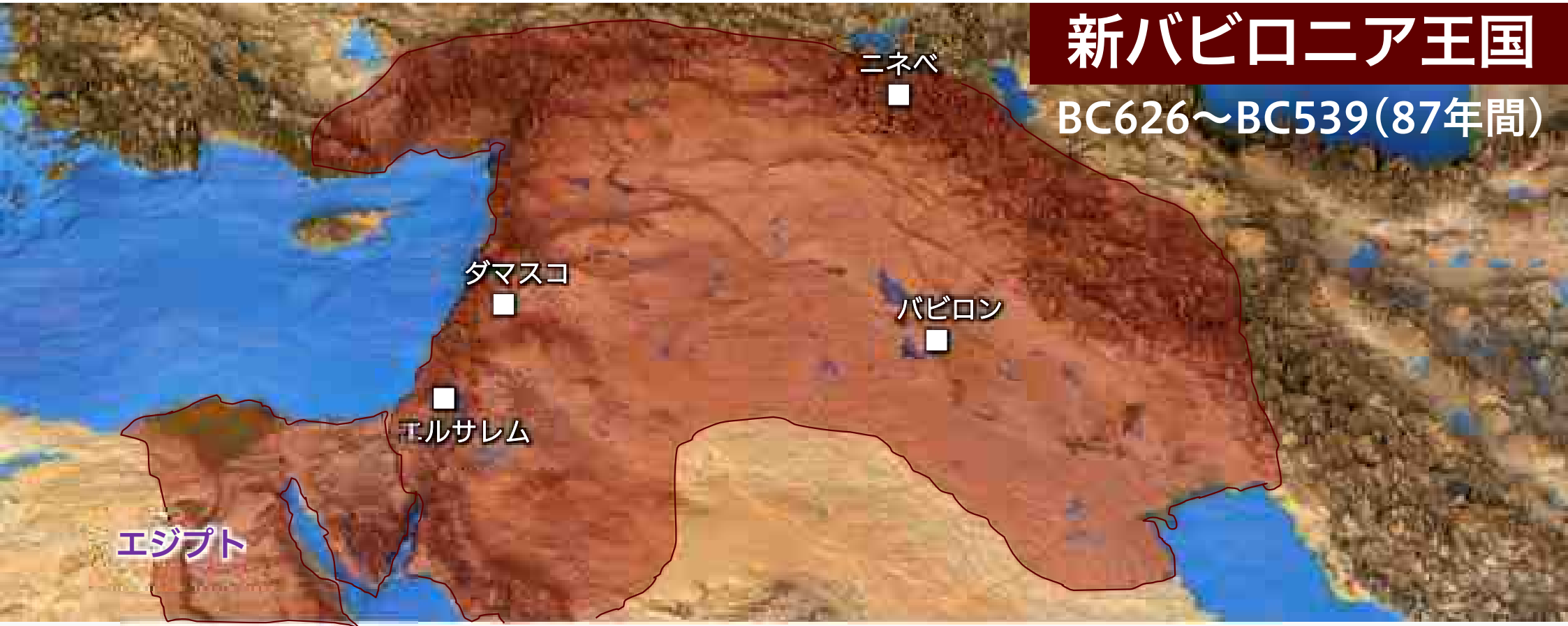
Ⅰ. 裁かれるバビロンの偶像

イザヤ書47章1～8節

バビロニアの浮彫

新バビロニア王国

BC626～BC539(87年間)



- アッシリアを滅ぼし、短期間で世界帝国となる。
エルサレムを陥落し、バビロン捕囚。
- ペルシャ王キュロスに滅ぼされ、捕囚の民は解放。

裁き 無力な偶像 イザヤ46:1

「ベル*はひざまずき、ネボ*はかがむ。彼らの像は獣と家畜に載せられる。あなたがたの荷物は、疲れた動物の重荷*となって運ばれる。

彼らはともにかがみ、ひざまずく。重荷を解くこともできず、自分自身も捕らわれの身となって行く。

*ベル・マルドゥク…バビロンの主神。

ネボはその子。

■バビロンは略奪され、偶像も分捕り物に。ただの荷物、運ぶ家畜の重荷でしかない。バビロンの人々は捕虜として連行される。



ネボ神

回復 残れる者 イザヤ46:3~4

ヤコブの家よ、わたしに聞け。イスラエルの家のすべての残りの者よ*。胎内にいたときから担がれ、生まれる前から運ばれた者よ。

あなたがたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたがたが白髪になっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。わたしは運ぶ。背負って救い出す。

■イスラエルの残れる信仰者たち*は、胎内にいるときから、主に選ばれ、守られてきた。



宣告 偶像礼拝者 イザヤ46:5~6

わたしをだれになぞらえて比べ、わたしをだれと並べて、なぞらえるのか。

袋から金を惜しげなく出し、銀を天秤で量る者たちは、金細工人を雇って、それで神を造り、ひざまずいては、これを拝む。

- 警告は、エルサレムの偶像礼拝者にも向けられる。



宣告 偶像の真実 イザヤ46:7～8

彼らはこれを肩に担いで運び、それがあったところに安置すると、それはそこに立ったままである。これはその場所から動かない。これに叫んでも答えず、苦しみから救ってもくれない。

このことを思い出し、勇み立て。背く者たちよ、心に思い返せ。

*偶像礼拝のむなしさは、律法が繰り返し告げていること。



バビロニアの神々



II. イスラエルの裁きと解放

イザヤ書48章

一部復元されたバビロンの町並み

宣告 ほかにはいない イザヤ46:9~10

遠い大昔のことを思い出せ。わたしが神である。
ほかにはいない*。わたしのよ^うな神はいない。

わたしは後^のこと*を初めから告げ、まだなされて
いないことを昔から告げ、『わたしの計画は成
就し、わたしの望むことをすべて成し遂げる』と
言う。

*45章で5度、46章でも1度。イザヤで6/10回

*“終わりのこと”

■「ほかにはいない」と、全イスラエルが知るのが
世の終わり(ヨエル2:27)



シナイ山

回復 裁きの器 イザヤ46:11

わたしは東から猛禽*を、遠い地から、わたしの計画を行う者*を呼ぶ。わたしは語って、それを来たらせ、計画を立てて、それを実行する。

*バビロンを滅ぼすペルシャ王キュロス



ペルシャの浮彫

回復 近づく神の義 イザヤ46:12~13

わたしに聞け*、頑なな者たちよ。正義*から遠く離れている者たちよ。

わたしは、わたしの義*を近づける。それは遠くはない。わたしの救いが遅れることはない。わたしはシオンに救いを、イスラエルにわたしの栄えを与える。」

*3節と12節で繰り返される、章のテーマ

*“ツェダカー”…正義、義。創15:6が最初。

「アブラムは【主】を信じた。それで、それが彼の義*と認められた。創15:6」



アブラムへの
約束こそ、義の礎



Ⅲ. まとめと適用

かつてない偶像の時代のただ中で
主に砕かれ、新しくされていこう

破壊された偶像・バビロン

バビロンの過去・現在・未来

- バビロン (בָּבֶל) …バベルも、原語は同じ。“混乱”“神々の門”
- 統一言語の時代の世界の中心都市。バベルの塔が建設。
- 後も繁栄と衰退を繰り返す。イザヤの時代はアッシリアの支配下。
- アッシリアを滅ぼし、世界帝国に。エルサレムを陥落(バビロン捕囚)。
→ ペルシャに滅ぼされる。キュロス王の勅令により捕囚民は解放。
- 大患難時代、反キリストの都・大バビロンが建築。世界政府の都に。
→ 再臨のメシアによって永遠に滅ぼされる。

偶像礼拝の中心地・バビロン

「さあ、われわれは自分たちのために、町と、頂が天に届く塔を建てて、名をあげよう。創11:4」

- 人類が一致して神に反逆して建てた**バベル**の塔は、**究極の偶像**
- 主は、**偶像礼拝の都**であり続けたバビロンを再興させ、**偶像礼拝の罪**に染まりきった都エルサレムを裁かれ、**偶像礼拝の地**に連行され、70年、その地で捕囚とされた。
- 究極の**偶像礼拝の都**が、大患難時代の反キリストの都・**大バビロン**再臨のメシアが、**究極の偶像礼拝**を裁かれ、滅ぼされる。

現代の偶像を考える

- アイドル(idol) …ギリシャのeidolonが起源。
偶像、偶像神、聖像、崇拝されるもの。
- 続々とアイドルを造り出し、舞台を整え、崇めさせ、貢がせる。
現代における偶像礼拝の祭司たちがいる。
例) 少年たちを犠牲にし、欲望を満たし、権力と金で肥え太った。
マスコミも政治も司法も介入できないほどの権力を手に。
- 今の世も、人々の憧れを集め、力を行使するのは、偶像礼拝者たち。

宣教に潜む罠を考える

- 主イエスは、「すべての人をわたしの弟子としなさい」と命じられた。
➔ クリスチャンは、キリストのフォロワー(弟子)
- 知らず知らず、「○○のフォロワー」になっていないか？
○○先生、○○教会、賛美グループの○○…。
- 従うべき基準(律法)が明示され、神の臨在が神殿に顕現していたイスラエルですら、偶像礼拝に陥った、その事実を受け止めよう。
- 世の始まりから、終わりに至るまで、偶像礼拝は絶えることがない。
偽りの教えが入りこみ、膨れ上がるのが、今の教会時代。

自分自身の目の前の課題に向き合おう

- 聖会や聖書研究会すら、逃避の場としてしまうことがある。
→ 向き合うべき現実の課題から逃げる口実にしていないか？
- 主の前に常に問われるのは、私自身の信仰だ。
どんなに素晴らしい説教者も、私の問題を解決してはくれない。
- 預言者たちは命がけで、イスラエルの罪を指摘し続けた、
自らの内にこびりつく、偶像礼拝と罪に向き合おう。
- 己の罪に向き合えば必ず砕かれる。主にすがるだけだと教えられる。
打ち砕かれ、悔いる心を、主は侮られず、力を与え、立たせられる。

★ 私の内にこびりつく、偶像からの決別を ★

- バビロンの民とは、偶像礼拝に浸っていた、私たち異邦人のこと。福音を信じて救われてなお、こびりつく偶像礼拝の残滓がある。
- 人が作ったストーリーに、心惹かれてしまっていないか。自分で作り上げた自分自身のストーリーに酔ってはいないだろうか。
- 魅惑的なストーリーを次々生み出す現代こそ、偶像礼拝の極み。やがて来る大患難時代の大バビロンの影は、すでに差している。
- 対抗する道はただ一つ。真実の主の物語に身を投じ、浸すこと。

「わたしに聞け」と告げられる 主の御声に心を傾けよう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

き しゅ めい
「わたしに聞け」と、主よ、あなたは命じられます。

なに みこえ こころかたむ もの
何よりも、あなたの御声に、心傾ける者としてください。

わたしじしん みたま みちび あ わた
私自身を、御霊の導きのままに明け渡します。

ぐうぞう えいきょう みわ しんじつ しゅ みちから ひと
偶像の影響を見分け、真実の主の御力に浸されていきますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」